

経済学専攻 ナンバリング

教育目標	「地域」の基礎となる経済について、「現代」、「国際」、「公共」、「地域」、「歴史」の視点から考え、「地域」の調和ある持続的発展を「協力」と「協働」によって支える行動力のある経済人の育成を目標とします。	
到達目標	〈知識・理解〉 DP1	経済を「現代」、「国際」、「公共」、「地域」、「歴史」の視点から多角的に理解します。
	〈関心・意欲〉 DP2	「地域」の基礎となる経済への関心を深め、その持続的発展に貢献する意欲を高めます。
	〈技能・表現〉 DP3	経済学の方法論の基礎を理論、実証の両面にわたり習得し、経済の諸相を科学的に考察、論証する能力を身につけます。
	〈態度・志向〉 DP4	知的好奇心を研ぎ澄まし、現場において問題を突き止め、グループでの協働による解決に進んで取り組む行動力、交流力、実践力を身につけます。

専門科目の分類	1:ゼミナール科目	2:演習系科目	3:現代経済	4:国際経済
	5:公共経済	6:地域経済	7:歴史経済	

科目名称	DP1	DP2	DP3	DP4	レベル	分類	必修・選択	ナンバー
経済取引と社会	◎		○		1	3	2	Ec132-01
マネーと社会	◎		○		1	3	2	Ec132-02
マクロ経済学		○	◎		2	3	2	Ec232-01
ミクロ経済学		○	◎		2	3	2	Ec232-02
統計学	○		◎		2	3	2	Ec232-03
会計学	○		◎		2	3	2	Ec232-04
経済学特論A	○		◎		2	3	2	Ec232-05
経済学特論D	○		◎		2	3	2	Ec232-06
経済学特論B	○	◎			2	6	2	Ec262-01
経済学特論C	○	◎			2	6	2	Ec262-02
経済史	○		◎		2	7	2	Ec272-01
金融経済論	○		◎		2	7	2	Ec272-02
現代経済学		○	◎		3	3	2	Ec332-01
計量経済学		○	◎		3	3	2	Ec332-02
国際経済学		◎	○		3	4	2	Ec342-01
国際協力論		◎	○		3	4	2	Ec342-02
国際地域経済研究A(アメリカ)	◎	○			3	4	2	Ec342-03
国際地域経済研究B(アジア)	◎	○			3	4	2	Ec342-04
国際地域経済研究C(ヨーロッパ)	◎	○			3	4	2	Ec342-05
開発経済学		◎	○		3	4	2	Ec342-06
財政学		○	◎		3	5	2	Ec352-01
経済政策論		◎	○		3	5	2	Ec352-02

公共政策論		◎	○		3	5	2	Ec352-03
金融論		◎	○		3	5	2	Ec352-04
環境社会論		◎	○		3	5	2	Ec352-05
地域経済学		◎	○		3	6	2	Ec362-01
農業経済論		◎	○		3	6	2	Ec362-02
地方財政論		◎	○		3	6	2	Ec362-03
北海道経済論	○	◎			3	6	2	Ec362-04
経済学史	○		◎		3	7	2	Ec372-01
ゼミナールⅠ		○	○	◎	2	1	1	Ec211-01
ゼミナールⅡ		○	○	◎	2	1	1	Ec211-02
ゼミナールⅢ		○	○	◎	3	1	1	Ec311-01
ゼミナールⅣ		○	○	◎	3	1	1	Ec311-02
ゼミナールⅤ		○	○	◎	4	1	1	Ec411-01
ゼミナールⅥ		○	○	◎	4	1	1	Ec411-02

地域創生専攻 ナンバリング

教育目標	グローバルな視点から新しい地域人を育て、地域環境と共生する持続可能な社会を築き、経済と産業、伝統文化と福祉、健康の発展に寄与し、すべての人の尊厳と人権が保障され、誰もが生き生きと安心して暮らせる地域づくりに貢献します。	
到達目標	〈知識・理解〉 DP1	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための専門的知識と豊かな教養を身につけます。
	〈関心・意欲〉 DP2	地域に固有な諸問題を自ら探求し解決する強い意思を示しつつ、よりよい新しい地域の創生に貢献する意欲を持ちます。
	〈技能・表現〉 DP3	他者の声にすなおに耳を傾け、自分の意見をわかりやすく伝達するコミュニケーション能力とコーディネーション能力を身につけます。地域課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得します。
	〈態度・志向〉 DP4	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って連携し、地域社会とともに「協同・協働」することにより「共学・協学」の場に加わることができます。

専門科目の分類	1:ゼミナール科目	2:演習系科目	3:グローバル経済	4:国内経済
	5:札幌学	6:子ども学		

科目名称	DP1	DP2	DP3	DP4	レベル	分類	必修・選択	ナンバー
国際経済基礎論	◎	○			1	3	2	Rd132-01
資料・データ分析	○		◎		1	4	2	Rd142-01
日本経済基礎論	◎	○			1	4	2	Rd142-02
NPO運営実習A			◎	○	2	2	2	Rd222-01
NPO運営実習B			◎	○	2	2	2	Rd222-02
グローバル化と経済	◎	○			2	3	2	Rd232-01
流通・サービスと経済	◎	○			2	3	2	Rd232-02
マクロ経済学	◎	○			2	4	2	Rd242-01
ミクロ経済学	◎	○			2	4	2	Rd242-02
会計・財務分析	○		◎		2	4	2	Rd242-03
地方自治論	◎	○			2	4	2	Rd242-04
福祉と経済	◎	○			2	4	2	Rd242-05
人口減少と経済	◎	○			2	4	2	Rd242-06
札幌学A(経済・経営)		◎		○	2	5	2	Rd252-01
札幌学B(自治)		◎		○	2	5	2	Rd252-02
札幌学C(芸術文化)		◎		○	2	5	2	Rd252-03
札幌学D(食文化)		◎		○	2	5	2	Rd252-04
札幌学E(国際交流)		◎		○	2	5	2	Rd252-05
札幌学F(観光)		◎		○	2	5	2	Rd252-06
札幌学G(医療福祉)		◎		○	2	5	2	Rd252-07
札幌学H(スポーツ)		◎		○	2	5	2	Rd252-08

札幌フィールドワークA(まちづくり)			○	◎	2	5	2	Rd252-09
札幌フィールドワークB(イベント)			○	◎	2	5	2	Rd252-10
札幌フィールドワークC(文化施設)			○	◎	2	5	2	Rd252-11
指導者論	○			◎	2	6	2	Rd262-01
野外教育論	○			◎	2	6	2	Rd262-02
特別支援教育総論	○			◎	2	6	2	Rd262-03
生涯教育論	○			◎	2	6	2	Rd262-04
子どもサポート論A(発達心理)	○			◎	2	6	2	Rd262-05
子どもサポート論B(児童福祉)	○			◎	2	6	2	Rd262-06
子どもサポート論C(子育て支援)	○			◎	2	6	2	Rd262-07
子どもサポート論D(コミュニティ)	○			◎	2	6	2	Rd262-08
子育て支援ボランティア実習A(英語読み聞かせ)			○	◎	2	6	2	Rd262-09
子育て支援ボランティア実習B(子育て支援)			○	◎	2	6	2	Rd262-10
地域創生実習(国際交流)			◎	○	3	2	2	Rd322-01
地域創生演習A(市民自治)			◎	○	3	2	2	Rd322-02
地域創生演習B(イベント)			◎	○	3	2	2	Rd322-03
地域創生演習C(商業)			◎	○	3	2	2	Rd322-04
国際協力論	◎	○			3	3	2	Rd332-01
国際地域経済研究A(アメリカ)	◎	○			3	3	2	Rd332-02
国際地域経済研究B(アジア)	◎	○			3	3	2	Rd332-03
多文化共生社会論A(自治体国際化論)	◎	○			3	3	2	Rd332-04
多文化共生社会論B(コミュニケーション)	◎	○			3	3	2	Rd332-05
国際観光論	◎	○			3	3	2	Rd332-06
国際観光ビジネス論	◎	○			3	3	2	Rd332-07
公共政策論	◎	○			3	4	2	Rd342-01
地域経済学	◎	○			3	4	2	Rd342-02
北海道経済論	◎	○			3	4	2	Rd342-03
社会保障論	◎	○			3	4	2	Rd342-04
ゼミナールⅠ		○	○	◎	2	1	1	Rd211-01
ゼミナールⅡ		○	○	◎	2	1	1	Rd211-02
ゼミナールⅢ		○	○	◎	3	1	1	Rd311-01
ゼミナールⅣ		○	○	◎	3	1	1	Rd311-02
ゼミナールⅤ		○	○	◎	4	1	1	Rd411-01
ゼミナールⅥ		○	○	◎	4	1	1	Rd411-02

経営学専攻 ナンバリング

教育目標	地域に現存するあるいは必要とされる経営体の創設、維持、発展に貢献するために、企業経営を考えるうえで不可欠な幅広い教養と経営分野の基礎的知識を備え、国際的視点をもって経営問題に対応できる人間の養成を目指します。	
到達目標	〈知識・理解〉 DP1	社会人として必要な学力や教養を偏りなく学び、経営学分野の基礎的知識を修得するとともに、それらの知識の総合的活用能力を身につけます。
	〈関心・意欲〉 DP2	企業経営の諸問題に関心を持ち、問題の核心を究明し、その解決に積極的に取り組むことができる能力を身につけます。
	〈技能・表現〉 DP3	経営にかかわる問題の解決に向けて、情報を収集・分析する能力を養い、的確な判断をするとともに、その判断に基づいた具体的な実施案を提示できる能力を身につけます。
	〈態度・志向〉 DP4	対処すべきことに主体的に関わるとともに、周囲と協調しながら、修得した経営的知見を活用し、地域や国際社会の発展に貢献できる能力を身につけます。

専門科目の分類	1:ゼミナール科目	2:演習系科目	3:企画マネジメント系科目	4:社会心理学系科目
	5:コミュニティビジネス系科目	6:会計系科目	7:情報系科目	8:国際系科目
	9:教員養成科目			

科目名称	DP1	DP2	DP3	DP4	レベル	分類	必修・選択	ナンバー
経営学基礎	◎	○			1	3	1	Ba131-01
基礎簿記	◎		○		1	6	1	Ba161-01
情報処理基礎	◎		○		1	7	1	Ba171-01
経営管理論		◎			2	3	1	Ba231-01
現代企業論		◎			2	3	1	Ba231-02
企業社会論		◎			2	3	1	Ba231-03
生産管理論		◎	○		2	3	1	Ba231-04
人事労務管理			◎	○	2	3	2	Ba232-01
経営史	○	◎			2	3	2	Ba232-02
組織と個人		◎	○		2	3	2	Ba232-03
組織と戦略		◎		○	2	3	2	Ba232-04
産業技術論		◎	○		2	3	2	Ba232-05
数理科学	◎		○		2	3	2	Ba232-06
事業構想学		○	◎		2	3	2	Ba232-07
地域のベンチャー経営		○		◎	2	3	2	Ba232-08
経営情報論		○	◎		2	3	3	Ba233-01
市場調査論			◎	○	2	4	2	Ba242-01
集団行動の心理学			◎	○	2	4	2	Ba242-02
社会心理学		○		◎	2	4	2	Ba242-03
経営統計学		○	◎		2	4	2	Ba242-04
マーケティング		◎		○	2	5	1	Ba251-01

立地環境論			○	◎	2	5	2	Ba252-01
まちづくり経営			◎	○	2	5	2	Ba252-02
都市システム論			○	◎	2	5	2	Ba252-03
財務諸表			◎	○	2	6	1	Ba261-01
財務会計論			◎	○	2	6	1	Ba261-02
業績管理会計		○	◎		2	6	1	Ba261-03
意思決定会計		○	◎		2	6	1	Ba261-04
原価計算		○	◎		2	6	2	Ba262-01
経営分析			◎	○	2	6	2	Ba262-02
会計情報論			◎	○	2	6	2	Ba262-03
会計情報システム		○	◎		2	6	2	Ba262-04
商業簿記	○		◎		2	6	2	Ba262-05
工業簿記	○		◎		2	6	2	Ba262-06
情報倫理		◎	○		2	7	1	Ba271-01
インターネット概論	◎		○		2	7	1	Ba271-02
産業情報論		◎	○		2	7	1	Ba271-03
情報メディア論	○		◎		2	7	1	Ba271-04
情報科学		○	◎		2	7	1	Ba271-05
情報管理論		○	◎		2	7	1	Ba271-06
情報処理応用	◎	○			2	7	2	Ba272-07
プログラミング	○		◎		2	7	2	Ba272-08
アルゴリズム論	◎		○		2	7	2	Ba272-09
情報通信論		◎	○		2	7	2	Ba272-10
モデルシミュレーション論			◎		2	7	2	Ba272-11
組版ソフトウェア演習			◎	○	2	2	2	Ba272-12
データベース論		○	◎		2	7	3	Ba273-01
コンピュータネットワーク論	○		◎		2	7	3	Ba273-02
情報システム構築		○	◎		2	7	3	Ba273-03
画像処理	○		◎		2	7	3	Ba273-04
国際ビジネス論			○	◎	2	8	2	Ba282-01
アジア経営論		○		◎	2	8	2	Ba282-02
職業指導論	◎			○	2	9	2	Ba292-01
情報と職業	◎		○		2	9	2	Ba292-02
中小企業論		◎	○		3	3	2	Ba332-01
品質管理論			◎	○	3	3	2	Ba332-02
ファイナンス論			◎	○	3	3	2	Ba332-03
Webマーケティング論		◎	○		3	3	2	Ba332-04
消費行動の心理学		○	◎		3	4	2	Ba342-01
依頼と説得の心理学			◎	○	3	4	2	Ba342-02
人間関係の心理学			○	◎	3	4	2	Ba342-03

ビジネスロジスティクス		◎		○	3	5	2	Ba352-01
施設計画論		◎	○		3	5	2	Ba352-02
会計監査		○	◎		3	6	2	Ba362-01
税務会計		○	◎		3	6	2	Ba362-02
簿記演習	○		◎		3	2	2	Ba362-03
コンピュータネットワーク実習		○	◎		3	7	2	Ba372-01
情報セキュリティ		○	◎		3	7	2	Ba372-02
情報システム実習		○	◎		3	7	2	Ba372-03
Webデザイン		○	◎		3	7	2	Ba372-04
マルチメディア実習			◎	○	3	7	2	Ba372-05
Webコンピューティング		○	◎		3	7	2	Ba372-06
データマイニング		○	◎		3	7	2	Ba372-07
ネットワーク社会論			◎	○	3	7	3	Ba373-01
ゼミナールⅠ	◎	○			2	1	1	Ba211-01
ゼミナールⅡ	◎	○			2	1	1	Ba211-02
ゼミナールⅢ		◎		○	3	1	1	Ba311-01
ゼミナールⅣ		◎		○	3	1	1	Ba311-02
ゼミナールⅤ		◎	○		4	1	1	Ba411-01
ゼミナールⅥ		◎	○		4	1	1	Ba411-02

法学専攻 ナンバリング

教育目標	法学専攻では、現代社会の背後にある法の仕組みを理解した上で、法的な思考方法を通じて様々な問題の解決策を導き出せる人材を育成します。 特に、警察官や消防士、国家公務員や地方自治を担う地方公務員、法専門職(弁護士、司法書士、行政書士など)や、民間企業において、法的な思考方法を備え活躍する人材の育成をします。	
到達目標	〈知識・理解〉 DP1	法学の基礎知識を得た上で、法的な思考方法を理解します。
	〈関心・意欲〉 DP2	事実を見つけ出す調査力、問題を法的に理解する分析力、そして、対話の中から真実を見出すコミュニケーション力を身につけます。
	〈技能・表現〉 DP3	継続的に学びを深め、法的な思考方法を用いて他者に貢献していく意欲を持つようになります。
	〈態度・志向〉 DP4	多面的に物事を捉え中庸と寛容を重んじる態度を身につけます。

専門科目の分類	1:ゼミナール科目	2:演習系科目	3:専攻必修科目	4:選択必修科目
	5:公務員・法専門職コース科目	6:パブリックセキュリティコース科目	7:ビジネス法務コース科目	8:エキスパートコース科目

科目名称	DP1	DP2	DP3	DP4	レベル	分類	必修・選択	ナンバー
法学	◎	○	◎		1	3	1	Lw131-01
憲法Ⅰ	◎	○	◎		1	3	1	Lw131-02
民法Ⅰ	◎	○	◎		1	3	1	Lw131-03
現代日本政治論	○	○	◎		1	5	2	Lw152-01
憲法Ⅱ	◎	○	◎		2	3	1	Lw231-01
民法Ⅱ	◎	○	◎		2	3	1	Lw231-02
民法Ⅲ	◎	○	◎		2	3	1	Lw231-03
国際法	◎	○	◎		2	3	1	Lw231-04
政治理論	○	○	◎		2	3	1	Lw231-05
行政法Ⅰ	◎	○	◎		2	4	3	Lw243-01
刑法	◎	○	◎		2	4	3	Lw243-02
商法Ⅰ	◎	○	◎		2	4	3	Lw243-03
刑事訴訟法	◎	○	◎		2	5	2	Lw252-01
労働法	◎	○	◎		2	5	2	Lw252-02
法社会学A	◎	○	◎		2	5	2	Lw252-03
法社会学B	◎	○	◎		2	5	2	Lw252-04
比較法A	◎	○	◎		2	5	2	Lw252-05
比較法B	◎	○	◎		2	5	2	Lw252-06
行政学	○	◎	○		2	5	2	Lw252-07
地方自治論		◎	○		2	5	2	Lw252-08



自治体財政論		◎	○		2	5	2	Lw252-09
公務員基礎Ⅰ		○	◎	○	2	5	2	Lw252-10
公務員基礎Ⅱ		○	◎	○	2	5	2	Lw252-11
国際政治学		◎	○		2	5	2	Lw252-12
国際政治史		◎	○		2	5	2	Lw252-13
社会思想史			◎	○	2	5	2	Lw252-14
消費者と法	○	○	◎		2	7	2	Lw272-01
環境と法	○	○	◎		2	7	2	Lw272-02
不動産と法	○	○	◎		2	7	2	Lw272-03
マクロ経済学		○	◎		2	7	2	Lw272-04
ミクロ経済学		○	◎		2	7	2	Lw272-05
商法Ⅱ	◎	○	◎		3	5	2	Lw352-01
民事訴訟法	◎	○	◎		3	5	2	Lw352-02
公務員応用Ⅰ		○	◎	○	3	5	2	Lw352-03
公務員応用Ⅱ		○	◎	○	3	5	2	Lw352-04
推論特論Ⅰ		○	◎	○	3	5	2	Lw352-05
推論特論Ⅱ		○	◎	○	3	5	2	Lw352-06
法律事務特別講座			◎	○	3	5	2	Lw352-07
行政法Ⅱ	◎	○	◎		3	5	2	Lw352-08
警察実務Ⅰ		○	◎	○	3	6	2	Lw362-01
警察実務Ⅱ		○	◎	○	3	6	2	Lw362-02
消防実務Ⅰ		○	◎	○	3	6	2	Lw362-03
消防実務Ⅱ		○	◎	○	3	6	2	Lw362-04
登記法Ⅰ	◎	○	◎		3	7	2	Lw372-01
登記法Ⅱ	◎	○	◎		3	7	2	Lw372-02
製造物責任	◎	○	◎		3	7	2	Lw372-03
情報と法	○	○	◎		3	7	2	Lw372-04
金融と法	○	○	◎		3	7	2	Lw372-05
税法	◎	○	◎		3	7	2	Lw372-06
外国政治			◎	○	3	7	2	Lw372-07
社会学			◎	○	3	7	2	Lw372-08
哲学			◎	○	3	7	2	Lw372-09
倫理学			◎	○	3	7	2	Lw372-10
憲法特論	◎	○	◎		3	8	2	Lw382-01
民法特論	◎	○	◎		3	8	2	Lw382-02
行政法特論	◎	○	◎		4	8	2	Lw482-01
自治行政特論	◎	○	◎		4	8	2	Lw482-02
刑法特論	◎	○	◎		4	8	2	Lw482-03
ゼミナールⅠ	○	○	◎	◎	2	1	1	Lw211-01
ゼミナールⅡ	○	○	◎	◎	2	1	1	Lw211-02
ゼミナールⅢ	○	○	◎	◎	3	1	1	Lw311-01

ゼミナールⅣ	○	○	◎	◎	3	1	1	Lw311-02
ゼミナールⅤ	○	○	◎	◎	4	1	1	Lw411-01
ゼミナールⅥ	○	○	◎	◎	4	1	1	Lw411-02

現代政治専攻 ナンバリング

教育目標	現代政治専攻では、現代社会の背後にある民主政治の理念を理解した上で、政策的な思考方法を通じて様々な問題の解決策を導き出せる人材を育成します。 特に、国際感覚を身につけ、民間、公的機関を問わず、多様な分野で活躍する人材を育成します。	
到達目標	<知識・理解> DP1	政治学の基礎知識を得た上で、民主政治的・政策的な思考方法を理解します。
	<関心・意欲> DP2	事実を見出す調査力、問題を法的に理解する分析力、そして、対話の中から真実を見出すコミュニケーション力を身につけます。
	<技能・表現> DP3	継続的に学びを深め、民主政治的・政策的な思考方法を用いて他者に貢献していく意欲をもつようになります。
	<態度・志向> DP4	多面的に物事を捉え中庸と寛容を重んじる態度を身につけます。

専門科目の分類	1:ゼミナール科目	2:演習系科目	3:政治・社会系科目	4:国際政治系科目
	5:自治行政系科目	6:国際関係科目	7:法学系科目	

科目名称	DP1	DP2	DP3	DP4	レベル	分類	必修・選択	ナンバー
現代日本政治論	◎		○		1	3	2	Po132-01
憲法 I	○	◎	○		1	7	2	Po172-01
政治理論	◎		○		2	3	2	Po232-01
社会思想史	○		◎		2	3	2	Po232-02
国際政治学	◎		○		2	4	2	Po242-01
ロシア外交論A	◎		○		2	4	2	Po242-02
ロシア外交論B	◎		○		2	4	2	Po242-03
国際政治史	◎		○		2	4	2	Po242-04
行政学	◎		○		2	5	2	Po252-01
地方自治論	◎		○		2	5	2	Po252-02
自治体財政論	◎		○		2	5	2	Po252-03
国際関係とジャーナリズム		◎	○		2	6	2	Po262-01
平和学	○	○	◎		2	6	2	Po262-02
憲法 II	○	◎	○		2	7	2	Po272-01
国際法	○	◎	○		2	7	2	Po272-02
現代政治行政事情	○		◎		3	3	2	Po332-01
外国政治	◎		○		3	3	2	Po332-02
公共政策論	◎	○	○		3	5	2	Po352-01
国際ネゴシエーション	○	◎	◎		3	6	2	Po362-01
日米関係論	◎		○		3	6	2	Po362-02

国際協力論	◎	○	○		3	6	2	Po362-03
ゼミナールⅠ	○	○	○	◎	2	1	1	Po211-01
ゼミナールⅡ	○	○	○	◎	2	1	1	Po211-02
ゼミナールⅢ	○	○	○	◎	3	1	1	Po311-01
ゼミナールⅣ	○	○	○	◎	3	1	1	Po311-02
ゼミナールⅤ	○	○	○	◎	4	1	1	Po411-01
ゼミナールⅥ	○	○	○	◎	4	1	1	Po411-02

英語専攻 ナンバリング

教育目標	・英語および英語圏文化に習熟した人材を養成します。・自国および他国の文化への知見を深め、世界事象を多角的にみることでできる人材を養成します。学び得た知識や経験を元に、自ら地域・国際社会に働きかける意欲を備えた人材を養成します。・他者を理解し、多様な社会に対応しうる、高いコミュニケーション能力を備えた人材を養成します。	
到達目標	〈知識・理解〉 DP1	英語圏の言語と文化に関する基本的知識を有し、多様な文化や社会について複眼的に理解することができます。
	〈関心・意欲〉 DP2	英語圏をはじめ国際社会の諸問題に関心を持ち、同時に自分化への理解も深める意欲を持ちます。
	〈技能・表現〉 DP3	英語技能の習得とともに、課題解決に向けて情報を収集・分析し、日本語と英語で自らの考えを発信することができます。
	〈態度・志向〉 DP4	自主的な学習を通じて自己を高める意識を持ち、多様な社会に柔軟に対応して積極的なコミュニケーションを図り、地域社会・国際社会の一員として責任を果たすことができます。

専門科目の分類	1:ゼミナール科目	2:演習系科目	3:コミュニケーションスキル科目	4:文化系科目
	5:英米文学系科目	6:語学系科目	7:通訳・翻訳系科目	8:専門英語系科目
	9:ビジネス実務系科目			

科目名称	DP1	DP2	DP3	DP4	レベル	分類	必修・選択	ナンバー
Oral Communication I	○	○	◎		1	2	1	En121-01
Oral Communication II	○	○	◎		1	2	1	En121-02
Reading I	◎	○	○		1	2	1	En121-03
Reading II	◎	○	○		1	2	1	En121-04
Basic Writing I		○	◎		1	2	1	En121-05
Basic Writing II		○	◎		1	2	1	En121-06
Listening			◎		1	2	1	En121-07
Pronunciation			◎		1	2	1	En121-08
Oral Communication III	○	○	◎		2	2	2	En221-01
Oral Communication IV	○	○	◎		2	2	2	En221-02
Reading III	◎	○	○		2	2	1	En221-03
Reading IV	◎	○	○		2	2	1	En221-04
Discussion I	○	○	◎	◎	2	2	1	En221-05
Discussion II	○	○	◎	◎	2	2	1	En221-06
Writing/Presenting I		○	◎	○	2	2	2	En222-01
Writing/Presenting II		○	◎	○	2	2	2	En222-02
TOEIC A			◎		3	3	2	En332-01
TOEIC B			◎		3	3	2	En332-02
TOEFL			◎		3	3	2	En332-03

Presentation		○	◎	◎	3	3	2	En332-04
Advanced Reading	◎	○	○		3	3	3	En333-01
Academic Writing	○	○	◎		3	3	3	En333-02
Discussion III	○	○	◎	◎	3	3	3	En333-03
Intercultural Study	◎	◎	○		3	4	2	En342-01
Regional Studies A	◎	◎	○		3	4	2	En342-02
Regional Studies B	◎	◎	○		3	4	2	En342-03
英米文学概論	◎	○			3	5	2	En352-01
イギリス文学史	◎	○			3	5	2	En352-02
アメリカ文学史	◎	○			3	5	2	En352-03
英米文学研究A	◎	○	○		3	5	2	En352-04
英米文学研究B	◎	○	○		3	5	2	En352-05
英語学概論	◎	○			3	6	2	En362-01
言語論Ⅰ	◎	○			3	6	2	En362-02
言語論Ⅱ	◎	○			3	6	2	En362-03
英語学研究A	◎	○	○		3	6	2	En362-04
英語学研究B	◎	○	○		3	6	2	En362-05
日英対照言語研究	◎	○	○		3	6	2	En362-06
通訳演習Ⅰ	○	○	◎	○	3	7	2	En372-01
通訳演習Ⅱ	○	○	◎	○	3	7	2	En372-02
通訳研究	○	○	◎	○	3	7	2	En372-03
翻訳演習Ⅰ	○	○	◎	○	3	7	2	En372-04
翻訳演習Ⅱ	○	○	◎	○	3	7	2	En372-05
専門英語研究A(観光)	○	○	◎	○	3	8	2	En382-01
専門英語研究B(ビジネス)	○	○	◎	○	3	8	2	En382-02
英語教育	○	○	◎	○	3	8	2	En382-03
秘書・ビジネス実務総論				◎	3	9	2	En392-01
エアライン・サービス論				◎	3	9	2	En392-02
ゼミナールⅠ	○	○	◎	◎	2	1	1	En211-01
ゼミナールⅡ	○	○	◎	◎	2	1	1	En211-02
ゼミナールⅢ	○	○	◎	◎	3	1	1	En311-01
ゼミナールⅣ	○	○	◎	◎	3	1	1	En311-02
ゼミナールⅤ	○	○	◎	◎	4	1	1	En411-01
ゼミナールⅥ	○	○	◎	◎	4	1	1	En411-02



ロシア語専攻 ナンバリング

教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的能力の高度化に努めます。</li> <li>・自国および他国の歴史や文化等の知見を深め、世界事象を多角的に視る力を養います。</li> <li>・少人数教育を重視し、他社への想像力と豊かな社会性を育てます。</li> <li>・個人の適性と能力に応じた教育指導の徹底を図り、専門的能力を活かして地域社会に貢献し得る人間を育成します。</li> </ul>	
到達目標	〈知識・理解〉 DP1	一定程度のロシア語力とロシア語圏に関する基本的知識を有しています。
	〈関心・意欲〉 DP2	国際社会の諸問題に関心を持ち、分析し、複眼的に理解することができます。
	〈技能・表現〉 DP3	課題解決に向けて情報を収集・分析し、日本語のみならず外国語でも表現することができます。
	〈態度・志向〉 DP4	自主的な学習を通じ、社会の一員として責任を果たすことができます。

専門科目の分類	1:ゼミナール科目	2:演習系科目	3:語学系科目	4:コミュニケーション系科目
	5:文学系科目	6:地域研究系科目		

科目名称	DP1	DP2	DP3	DP4	レベル	分類	必修・選択	ナンバー
ロシア語入門Ⅰ	◎		○		1	3	2	Ru132-01
ロシア語入門Ⅱ	◎		○		1	3	2	Ru132-02
基礎ロシア語Ⅰ	◎		○		1	4	2	Ru142-01
基礎ロシア語Ⅱ	◎		○		1	4	2	Ru142-02
ロシア事情B(文学・文化)	◎	○			1	5	1	Ru151-01
ロシア事情A(地域研究)	◎	○			1	6	1	Ru161-01
ロシア語文法	◎		○		2	3	1	Ru231-01
ロシア語演習Ⅰ	◎		○		2	3	2	Ru232-01
ロシア語演習Ⅱ	◎		○		2	3	2	Ru232-02
ロシア語発展演習A	◎		○		2	3	2	Ru232-03
ロシア語発展演習B	◎		○		2	3	2	Ru232-04
言語論Ⅰ		◎		○	2	3	2	Ru232-05
言語論Ⅱ		◎		○	2	3	2	Ru232-06
ロシア語作文	◎		○		2	4	1	Ru241-01
ロシア語会話Ⅰ	◎		○		2	4	1	Ru241-02
ロシア語会話Ⅱ	◎		○		2	4	1	Ru241-03
ロシア語学研究A	○	◎			3	3	3	Ru333-01
ロシア語学研究B	○	◎			3	3	3	Ru333-02
ロシア語作文研究	○		◎		3	4	2	Ru342-01
ロシア文学講読A	○	◎			3	5	2	Ru352-01



ロシア文学講読B	○	◎			3	5	2	Ru352-02
ロシア史A	○	◎			3	6	2	Ru362-01
ロシア史B	○	◎			3	6	2	Ru362-02
ロシア外交論A	○	◎			3	6	2	Ru362-03
ロシア外交論B	○	◎			3	6	2	Ru362-04
ロシア文化社会論A	○	◎			3	6	2	Ru362-05
ロシア文化社会論B	○	◎			3	6	2	Ru362-06
時事ロシア語研究		◎	○		4	3	2	Ru432-01
日口翻訳論		○	◎		4	4	2	Ru442-01
現代ロシア語表現研究A	○		◎		4	4	3	Ru443-01
現代ロシア語表現研究B	○		◎		4	4	3	Ru443-02
ロシア文学研究A		◎	○		4	5	3	Ru453-01
ロシア文学研究B		◎	○		4	5	3	Ru453-02
ゼミナールⅠ		○		◎	2	1	1	Ru211-01
ゼミナールⅡ		○		◎	2	1	1	Ru211-02
ゼミナールⅢ		○		◎	3	1	1	Ru311-01
ゼミナールⅣ		○		◎	3	1	1	Ru311-02
ゼミナールⅤ		○		◎	4	1	1	Ru411-01
ゼミナールⅥ		○		◎	4	1	1	Ru411-02

歴史文化専攻 ナンバリング

教育目標	過去から現代に至る人間や社会の営み、地域(北海道)と日本・世界という空間に生きる人々について、資料や事実に基づいた客観的な実態を学び、自己と他者を相対化して共に生きるための知識を身につけた、未来を展望できる人材の育成を目指します。	
到達目標	〈知識・理解〉 DP1	人類学・考古学・歴史学・地理学・アイヌ文化などについて広く理解し、基礎的な知識を身につけ、さらに一つの学問を深く学んで、学校教育分野・社会教育分野・文化財保護分野などの専門職への就職に対応可能な知識を修得します。
	〈関心・意欲〉 DP2	現代に生きる人間が、過去から続く歴史の中で生きていることに関心を向け、歴史文化の諸分野が現在に繋がっていることを自覚し、自己の生き方を積極的に考える意欲を身につけます。また、世界の人々の生き様に広く関心を向け、世界と自己の未来を見つめます。
	〈技能・表現〉 DP3	資料を計測したり、古文書を読んだり、フィールド調査の技術を身につけたりして、対象資料を客観的に把握する技能を身につけ、さらにそれらをまとめて報告・発表できるようにします。また専門的な事項を、誰にでも易しく説明できる技能と表現力を身につけます。
	〈態度・志向〉 DP4	調査などの作業を通じて、ものごとに対し積極的に忍耐強く関わり、他人に左右されず自分の考え、自分で判断して行動する態度を身につけます。またフィールドワークなどを通じて、多くの人々とのコミュニケーションを大切に、集団の中で協調して行動できる人材を目指します。

専門科目の分類	1:ゼミナール科目	2:演習系科目	3:日本史系科目	4:外国史系科目
	5:地理学系科目	6:人類学系科目	7:アイヌ学系科目	8:考古学系科目
	9:その他の専門科目			

科目名称	DP1	DP2	DP3	DP4	レベル	分類	必修・選択	ナンバー
ヒトと文化基礎論	○	◎			1	6	2	Hc162-01
アイヌ語Ⅰ	◎		○		1	7	2	Hc172-01
アイヌ語Ⅱ	◎		○		1	7	2	Hc172-02
日本史	◎		○		2	3	1	Hc231-01
日本政治史	◎		○		2	3	2	Hc232-01
日本史研究法	◎		○		2	3	2	Hc232-02
外国史	◎		○		2	4	1	Hc241-01
ロシア史A	◎	○			2	4	2	Hc242-01
ロシア史B	◎	○			2	4	2	Hc242-02
東洋史	◎		○		2	4	2	Hc242-03
西洋史	◎		○		2	4	2	Hc242-04
ヨーロッパ文明史	◎	○			2	4	2	Hc242-05
自然地理学	◎		○		2	5	1	Hc251-01
人文地理学	◎		○		2	5	1	Hc251-02
地誌学	◎		○		2	5	1	Hc251-03
ヒトと文化	◎	○			2	6	2	Hc262-01
文化人類学	◎		○		2	6	2	Hc262-02
アイヌ文化論	◎		○		2	7	2	Hc272-01

考古学研究	◎		○		2	8	2	Hc282-01
マクロ経済学	◎				2	9	2	Hc292-01
ミクロ経済学	◎				2	9	2	Hc292-02
経済史	◎				2	9	2	Hc292-03
経営史	◎				2	9	2	Hc292-04
社会思想史	◎	○			2	9	2	Hc292-05
国際政治史	◎				2	9	2	Hc292-06
西洋美術史	◎	○			2	9	2	Hc292-07
文化財論	◎		○		2	9	2	Hc292-08
社会学	◎	○			2	9	2	Hc292-09
日本文学史	◎	○			2	9	2	Hc292-10
哲学	◎	○			2	9	2	Hc292-11
倫理学	◎	○			2	9	2	Hc292-12
日本北方史	◎		○		3	3	1	Hc331-01
日本近代史	◎		○		3	3	2	Hc332-01
日本現代史	◎		○		3	3	2	Hc332-02
中国史	◎		○		3	4	1	Hc341-01
北海道地域文化論	◎		○		3	5	1	Hc351-01
人類学	◎		○		3	6	2	Hc362-01
アイヌの歴史	◎		○		3	7	2	Hc372-01
アイヌ文学	◎		○		3	7	2	Hc372-02
考古学特講A	◎		○		3	8	2	Hc382-01
考古学特講B	◎		○		3	8	2	Hc382-02
日口関係史	◎		○		3	9	2	Hc392-01
ゼミナールⅠ			○	◎	2	1	1	Hc211-01
ゼミナールⅡ			○	◎	2	1	1	Hc211-02
ゼミナールⅢ		○		◎	3	1	1	Hc311-01
ゼミナールⅣ		○		◎	3	1	1	Hc311-02
ゼミナールⅤ		○	◎		4	1	1	Hc411-01
ゼミナールⅥ		○	◎		4	1	1	Hc411-02

日本語・日本文化専攻 ナンバリング

教育目標	日本語・日本文化を学際的に学び、多様化する文化形態や現象を読み解いた上で、自ら表現できる能力を身につけ、自己理解・他者理解に長けた柔軟性のある人材の養成を目指します。	
到達目標	〈知識・理解〉 DP1	日本語の特性や日本語を表現手段とする古典から現代に至る日本文学を理論的に学びながら、多角的視野に基づいて日本文化を理解し表現できる能力を身につけます。
	〈関心・意欲〉 DP2	日本語・日本文化の諸問題について関心を持ち、解決に向けて主体的かつ意欲的に取り組む力を身につけます。
	〈技能・表現〉 DP3	問題を解決するために自ら情報を収集・分析・比較検討し、導き出された結論を具体的に自己表現できる能力を身につけます。
	〈態度・志向〉 DP4	主体的な学習によって自らの意欲を維持しながら、他者の意見も受け入れ共感できる力を身につけます。

専門科目の分類	1:ゼミナール科目	2:演習系科目	3:人文系科目	4:実技指導系科目
---------	-----------	---------	---------	-----------

科目名称	DP1	DP2	DP3	DP4	レベル	分類	必修・選択	ナンバー
日本文学史	◎	○			2	3	1	Jc231-01
日本語概論	◎	○			2	3	1	Jc231-02
日本語表現論	○	◎			2	3	1	Jc231-03
日本文学表現論	○	◎			2	3	1	Jc231-04
文学と現代社会	○	◎			2	3	1	Jc231-05
日本文化論	◎	○			2	3	1	Jc231-06
日本語史		◎	○		3	3	1	Jc231-07
日本語文法論		◎	○		3	3	1	Jc231-08
言語論Ⅰ	○	◎			2	3	2	Jc232-01
言語論Ⅱ	○	◎			2	3	2	Jc232-02
日本史	○	◎			2	3	2	Jc232-03
日本語教授法基礎	○	◎			2	3	2	Jc232-04
漢文学	○	◎			2	3	2	Jc232-05
日本武芸文化論	○	◎			2	3	2	Jc232-06
書道	○	◎			2	4	2	Jc242-01
日本武芸文化演習基礎		◎	○		2	4	2	Jc242-02
日本語表現演習A		○	◎		3	2	2	Jc322-01
日本語表現演習B			◎	○	3	2	2	Jc322-02
日本語古典文法演習		○	◎		3	2	2	Jc322-03
日本語学特講A		○	◎		3	3	2	Jc332-01
日本語学特講B		○	◎		3	3	2	Jc332-02
日本文学特講A		○	◎		3	3	2	Jc332-03

日本文学特講B		○	◎		3	3	2	Jc332-04
日本文学特講C		○	◎		3	3	2	Jc332-05
日本文化特講			◎	○	3	3	2	Jc332-06
日本語教授法応用			◎	○	3	3	2	Jc332-07
日本語教材・教具論			◎	○	3	2	2	Jc322-08
日中比較文学文化論		○	◎		3	3	2	Jc332-09
日本文学表現史		○	◎		3	3	2	Jc332-10
現代日本文学史研究			◎	○	3	3	2	Jc332-11
日本武芸文化演習応用		○	◎		3	4	2	Jc342-01
ゼミナールⅠ		◎	○		2	1	1	Jc211-01
ゼミナールⅡ		◎	○		2	1	1	Jc211-02
ゼミナールⅢ			◎	○	3	1	1	Jc311-01
ゼミナールⅣ			◎	○	3	1	1	Jc311-02
ゼミナールⅤ			○	◎	4	1	1	Jc411-01
ゼミナールⅥ			○	◎	4	1	1	Jc411-02

中国語中国文化専攻 ナンバリング

教育目標	中国語の運用能力のみならず、日本と中国語圏の歴史や文化等の知見を深め、自分を取り巻く世界の多様性を旺盛な知的探究心を持って受け入れ、自らの柔軟な思考力や感性に基づいて地域社会に貢献し得る人材の育成を目指します。	
到達目標	〈知識・理解〉 DP1	中国語圏に関する基本的知識を有し、言語と文化の多様性について、他者の立場で複眼的に理解できます。
	〈関心・意欲〉 DP2	国際社会の諸問題に関心を持ち、意欲的にそれらを分析し説明することができます。
	〈技能・表現〉 DP3	日本語や中国語で問題解決に向けて情報を収集分析し、表現することができます。
	〈態度・志向〉 DP4	自主的に学習・行動でき、国際社会の一員として責任を果たすことができます。

専門科目の分類	1:ゼミナール科目	2:演習系科目	3:外国語系科目	4:人文系科目
	5:社会科学系科目			

科目名称	DP1	DP2	DP3	DP4	レベル	分類	必修・選択	ナンバー
入門中国語会話Ⅰ	○		◎		1	3	2	Cc132-01
入門中国語会話Ⅱ	○		◎		1	3	2	Cc132-02
入門中国語閲読Ⅰ	○		◎		1	3	2	Cc132-03
入門中国語閲読Ⅱ	○		◎		1	3	2	Cc132-04
日中通訳ガイドⅠ			◎	○	2	2	2	Cc222-01
日中通訳ガイドⅡ			◎	○	2	2	2	Cc222-02
初級中国語会話	○		◎		2	3	2	Cc232-01
初級中国語閲読	○		◎		2	3	2	Cc232-02
初級中国語聴解	○		◎		2	3	2	Cc232-03
中国語精読Ⅰ	○		◎		2	3	2	Cc232-04
言語論Ⅰ		◎			2	4	2	Cc242-01
言語論Ⅱ		◎			2	4	2	Cc242-02
東洋史	◎	○			2	4	2	Cc242-03
漢文学	◎	○			2	4	2	Cc242-04
アジア経営論	○	◎			2	5	2	Cc252-01
中級中国語会話	○		◎		3	3	2	Cc332-01
中級中国語閲読	○		◎		3	3	2	Cc332-02
中級中国語聴解	○		◎		3	3	2	Cc332-03
上級中国語会話	○		◎		3	3	2	Cc332-04
上級中国語閲読	○		◎		3	3	2	Cc332-05
上級中国語聴解	○		◎		3	3	2	Cc332-06

中国語精読Ⅱ	○		◎		3	3	2	Cc332-07
日中通訳ガイドⅢ			◎	○	3	2	2	Cc322-08
中国史	◎	○			3	4	2	Cc342-01
日中比較文学文化論	◎	○			3	4	2	Cc342-02
ゼミナールⅠ	◎	○			2	1	1	Cc211-01
ゼミナールⅡ	◎	○			2	1	1	Cc211-02
ゼミナールⅢ	◎	○			3	1	1	Cc311-01
ゼミナールⅣ	◎	○			3	1	1	Cc311-02
ゼミナールⅤ			◎	○	4	1	1	Cc411-01
ゼミナールⅥ			◎	○	4	1	1	Cc411-02

異文化コミュニケーション専攻 ナンバリング

教育目標	人文科学の教養と思考法, 高度な分析能力とコミュニケーション能力を備え, 多様な視点から多様化する社会環境や異文化を構造的に理解し, 社会で活躍できる人材の育成を目指します。	
到達目標	〈知識・理解〉 DP1	社会人として必要な基礎学力・教養を身に付け, 多様な文化および社会について基本的知識と理解を深めます。
	〈関心・意欲〉 DP2	広く社会について関心を持ち, 自らの考えを映像・音楽・文学・言語などの表現文化を通して表現・発信する力を身に付けます。
	〈技能・表現〉 DP3	異文化を理解し, コミュニケーションをはかるために, 映像・音楽・文学・言語などのメディアを使って表現する技法を身に付けます。
	〈態度・志向〉 DP4	異文化および他者を真に理解する力を持ち, 多様化する社会の一員として, 新たに文化を創造する力を身に付けます。

専門科目の分類	1:ゼミナール科目	2:演習系科目	3:言語系科目	4:芸術系科目
	5:メディア系科目	6:国際系科目	7:総合的科目	8:人文科学系科目
	9:社会科学系科目			

科目名称	DP1	DP2	DP3	DP4	レベル	分類	必修・選択	ナンバー
現代日本政治論	○				1	9	2	Ic192-01
Discussion I		○			2	3	2	Ic232-01
Discussion II		○			2	3	2	Ic232-02
英米文学概論	○	○			2	3	2	Ic232-03
言語論 I	○				2	3	2	Ic232-04
言語論 II	○				2	3	2	Ic232-05
言語文化論A	◎				2	3	2	Ic232-06
言語文化論B	◎				2	3	2	Ic232-07
西洋美術史		○			2	4	2	Ic242-01
表象文化論		○			2	4	2	Ic242-02
芸術文化論		○			2	4	2	Ic242-03
メディア表現演習 I		○	◎		2	5	2	Ic252-01
メディア表現演習 II			○	◎	2	5	2	Ic252-02
Intercultural Study		◎			2	6	2	Ic262-01
日中比較文学文化論	○				2	6	2	Ic262-02
人文地理学	○				2	8	2	Ic282-01
アイヌ文化論	○				2	8	2	Ic282-02
ヒトと文化	○				2	8	2	Ic282-03
文化人類学	○				2	8	2	Ic282-04
文学と現代社会	○				2	8	2	Ic282-05
日本文化論	○				2	8	2	Ic282-06
多文化共生社会論A(自治体国際化論)	○				2	9	2	Ic292-01
多文化共生社会論B(コミュニケーション)	○				2	9	2	Ic292-02
行政学	○				2	9	2	Ic292-03
社会学	○				2	9	2	Ic292-04
表象文化演習A			○		3	2	2	Ic322-01



表象文化演習B				○	3	2	2	Ic322-02
芸術表象演習			○	◎	3	2	2	Ic322-03
コミュニケーション演習			○	◎	3	2	2	Ic322-04
異文化コミュニケーション演習A			○	◎	3	2	2	Ic322-05
異文化コミュニケーション演習B			○	◎	3	2	2	Ic322-06
異文化コミュニケーション演習C			○	◎	3	2	2	Ic322-07
英米文学研究A		○			3	3	2	Ic332-08
映像文化論		○			3	5	2	Ic352-01
国際ネゴシエーション		○	◎		3	6	2	Ic362-01
Regional Studies A		○	◎		3	6	2	Ic362-02
Regional Studies B		○	◎		3	6	2	Ic362-03
比較文学	○				3	8	2	Ic382-01
ゼミナールⅠ	○	◎			2	1	1	Ic211-01
ゼミナールⅡ	○	◎			2	1	1	Ic211-02
ゼミナールⅢ		○	◎		3	1	1	Ic311-01
ゼミナールⅣ		○	◎		3	1	1	Ic311-02
ゼミナールⅤ			○	◎	4	1	1	Ic411-01
ゼミナールⅥ			○	◎	4	1	1	Ic411-02

スポーツ文化専攻 ナンバリング

教育目標	スポーツから人と人をつなぐコミュニケーションの有り方を考えさせ、スポーツの国際的な広がりやスポーツと地域のかかわりについて多角的に学ぶ機会を提供し、国際社会・地域社会に貢献できる人の育成を目指します。	
到達目標	〈知識・理解〉 DP1	スポーツ科学の学際的な特徴に応じた知識(スポーツの人文科学的、社会科学的、自然科学的な知識)と実践力を総合的に身につけます。
	〈関心・意欲〉 DP2	スポーツを通して世代や地域の枠を超えたあらゆる人々について関心を持ち、主体的に様々な人々とコミュニケーションがとれるようになります。
	〈技能・表現〉 DP3	スポーツの教育的な価値を理解し、スポーツを通して人を育む能力を身につけ、適切な運動の方法や知見を師範・提示できる能力を身につけます。
	〈態度・志向〉 DP4	スポーツ文化を学ぶことで全人的なバランスのとれた態度で自然と社会に働きかけることができ、自然環境や社会の在り方について深く考え、貢献できるようになります。

専門科目の分類	1:ゼミナール科目	2:演習系科目	3:人文科学系科目	4:社会科学系科目
	5:自然科学系科目	6:総合系科目	7:実技指導系科目	8:特支総論科目
	9:特支各論科目			

科目名称	DP1	DP2	DP3	DP4	レベル	分類	必修・選択	ナンバー
スポーツと現代社会	○			◎	1	4	2	142-01
救急・応急処置演習	◎	○			1	5	1	151-01
生理解剖学	◎			○	1	5	1	151-02
スポーツ文化論	◎			○	1	6	1	161-01
札幌学H(スポーツ)		◎		○	1	6	2	162-01
野外教育論			○	◎	1	6	3	163-01
日本武芸文化演習基礎		○	◎		2	2	3	223-01
野外活動演習基礎			◎	○	2	2	3	223-02
トレーニング・評価			◎	○	2	2	3	223-03
スポーツ哲学	◎			○	2	3	1	231-01
スポーツ史	◎			○	2	3	3	233-01
日本武芸文化論	○			◎	2	3	3	233-02
スポーツマネジメント		○		◎	2	4	1	241-01
スポーツ社会学		○		◎	2	4	1	241-02
スポーツ心理学		◎	○		2	4	1	241-03
スポーツとメディア	○			◎	2	4	3	243-01
運動生理学	◎			○	2	5	1	251-01
学校保健	◎			○	2	5	1	251-02
医学概論Ⅰ	◎			○	2	5	2	252-01
医学概論Ⅱ	◎			○	2	5	2	252-02

学校安全	◎			○	2	5	2	252-03
精神保健	◎			○	2	5	2	252-04
生理学	◎			○	2	5	3	253-01
スポーツ教育学			◎	○	2	6	1	261-01
特別支援教育総論	◎			○	2	8	2	282-01
知的障害教育論Ⅰ	◎			○	2	8	2	282-02
肢体不自由教育論Ⅰ	◎			○	2	8	2	282-03
聴覚障害教育論	◎			○	2	8	2	282-04
発達障害教育総論	◎			○	2	8	2	282-05
病弱教育論	◎			○	2	8	2	282-06
重複障害教育総論	◎			○	2	8	2	282-07
スポーツ・レクリエーション演習			◎	○	3	2	3	323-01
日本武芸文化演習応用			◎	○	3	2	3	323-02
サマー・スポーツ演習			◎	○	3	2	3	323-03
ウィンター・スポーツ演習			◎	○	3	2	3	323-04
野外活動演習応用			◎	○	3	2	3	323-05
コーチング		◎	○		3	4	1	341-01
運動学		○		◎	3	5	1	351-01
衛生学及び公衆衛生学	◎			○	3	5	3	353-01
サッカー	○		◎		3	7	2	372-01
バスケットボール	○		◎		3	7	2	372-02
バレーボール	○		◎		3	7	2	372-03
テニス	○		◎		3	7	2	372-04
バドミントン	○		◎		3	7	2	372-05
ソフトボール	○		◎		3	7	2	372-06
体操・器械体操	○		◎		3	7	2	372-07
陸上競技	○		◎		3	7	2	372-08
水泳	○		◎		3	7	2	372-09
武道A	○		◎		3	7	2	372-10
武道B	○		◎		3	7	2	372-11
ダンス	○		◎		3	7	2	372-12
視覚障害教育論	◎			○	3	8	2	382-01
知的障害教育論Ⅱ	◎			○	3	8	2	382-02
肢体不自由教育論Ⅱ	◎			○	3	8	2	382-03
知的障害者の心理アセスメント	◎			○	3	8	2	382-04
知的障害者の心理・生理・病理	◎			○	3	9	2	392-01
肢体不自由者の心理・生理・病理	◎			○	3	9	2	392-02
病弱者の心理・生理・病理	◎			○	3	9	2	392-03
視覚障害者の心理・生理・病理	◎			○	3	9	2	392-04

聴覚障害者の心理・生理・病理	◎			○	3	9	2	392-05
教育実習	◎			○	4	8	2	482-01
ゼミナールⅠ		○	◎		2	1	1	211-01
ゼミナールⅡ		○	◎		2	1	1	211-02
ゼミナールⅢ		○	◎		3	1	1	311-01
ゼミナールⅣ		○	◎		3	1	1	311-02
ゼミナールⅤ		○	◎		4	1	1	411-01
ゼミナールⅥ		○	◎		4	1	1	411-02

現代教養専攻 ナンバリング

教育目標	文武両道を実現する気力に満ち溢れ、心身ともに強靱にして、幅広い教養と確かな倫理観を備えたゼネラリスト(多様な知識と能力を備え、全体的な展望のもとに総合的な判断を下せる人間)の養成を目指します。	
到達目標	〈知識・理解〉 DP1	4分野(人文、社会、自然、学際科学)の科目を偏りなく学び、それぞれの分野の基礎知識を修得するとともに、それら基礎知識の総合的活用能力を身に付ける。
	〈関心・意欲〉 DP2	身边はもちろん、社会全般に生起する諸問題に関心を向け、問題の核心を究明し、解決しようとする探求心を身に付ける。
	〈技能・表現〉 DP3	「概念知」と「体験知」を融合させ、状況に応じて迅速かつ的確な判断をくだすとともに、その判断に基づいた具体的な実施案を提供できる能力を身に付ける。
	〈態度・志向〉 DP4	対処すべきことに主体的に関わるとともに、他者の意見にも素直に耳を傾け、周囲と協調し、約束事にしたがって行動できる能力を身に付ける。

専門科目の分類	1:ゼミナール科目	2:演習系科目	3:人文科学科目	4:社会科学科目
	5:自然科学科目	6:学際系科目	7:実習系科目	

科目名称	DP1	DP2	DP3	DP4	レベル	分類	必修・選択	ナンバー
スポーツ競技実習Ⅰ	○		◎		1	7	2	La172-01
スポーツ競技実習Ⅱ	○		◎		1	7	2	La172-02
社会人基礎実習A-Ⅰ	○		◎		1	7	2	La172-03
社会人基礎実習A-Ⅱ	○		◎		1	7	2	La172-04
社会人基礎実習B-Ⅰ	○		◎		1	7	2	La172-05
社会人基礎実習B-Ⅱ	○		◎		1	7	2	La172-06
スポーツ競技実習Ⅲ	○		◎		1	7	2	La172-07
スポーツ競技実習Ⅳ	○		◎		1	7	2	La172-08
スポーツ指導論基礎			◎	○	2	2	2	La222-01
哲学概論			◎	○	2	3	2	La232-01
倫理学概論			◎	○	2	3	2	La232-02
論理学概論			◎	○	2	3	2	La232-03
歴史学概論			◎	○	2	3	2	La232-04
現代思想			◎	○	2	3	2	La232-05
文学と現代社会		◎	○		2	3	2	La232-06
法学概論			◎	○	2	4	2	La242-01
経済学概論			◎	○	2	4	2	La242-02
社会思想史			◎	○	2	4	2	La242-03
社会心理学		◎		○	2	4	2	La242-04
ゲーム理論	◎	○			2	4	2	La242-05
数学概論	◎			○	2	5	2	La252-01

生物学概論	◎			○	2	5	2	La252-02
生態学概論	◎			○	2	5	2	La252-03
環境科学概論	◎			○	2	5	2	La252-04
スポーツと現代社会	○			◎	2	6	2	La262-01
文化人類学	◎			○	2	6	2	La262-02
表象文化論	◎			○	2	6	2	La262-03
芸術文化論	◎			○	2	6	2	La262-04
日本文化論	◎			○	2	6	2	La262-05
アイヌ文化論	◎			○	2	6	2	La262-06
スポーツ文化論	◎			○	2	6	2	La262-07
日本武芸文化論	○			◎	2	6	2	La262-08
スポーツ史	◎			○	2	6	2	La262-09
スポーツマネジメント		○		◎	2	6	2	La262-10
運動生理学	◎			○	2	6	2	La262-11
スポーツ指導実践基礎	○		◎		2	7	2	La272-01
社会人基礎実習A-Ⅲ	○		◎		2	7	2	La272-02
社会人基礎実習A-Ⅳ	○		◎		2	7	2	La272-03
社会人基礎実習B-Ⅲ	○		◎		2	7	2	La272-04
社会人基礎実習B-Ⅳ	○		◎		2	7	2	La272-05
スポーツ指導論			◎	○	3	2	2	La322-01
倫理と社会		◎		○	3	3	2	La332-01
思想と社会		◎		○	3	3	2	La332-02
歴史と社会		◎		○	3	3	2	La332-03
アイヌの歴史	◎			○	3	3	2	La332-04
公共哲学	◎			○	3	3	2	La332-05
国際関係論		◎	○		3	6	2	La332-06
人間関係の心理学		◎		○	3	3	2	La332-07
世界の文学	◎		○		3	3	2	La332-08
法と社会		◎		○	3	4	2	La342-01
政治と社会		◎		○	3	4	2	La342-02
経済と社会		◎		○	3	4	2	La342-03
自然と社会		◎		○	3	5	2	La352-01
科学と社会		◎		○	3	5	2	La352-02
生態学と社会		◎		○	3	5	2	La352-03
国際ネゴシエーション		◎		○	3	6	2	La362-01
北海道地域文化論	◎			○	3	6	2	La362-02
トレーニング・評価	◎	○			3	6	2	La362-03
コーチング		◎	○		3	6	2	La362-04
スポーツとメディア	◎			○	3	6	2	La362-05

スポーツ指導実践	○		◎		3	7	2	La372-01
ゼミナールⅠ		◎			2	1	1	La211-01
ゼミナールⅡ		◎			2	1	1	La211-02
ゼミナールⅢ		◎			3	1	1	La311-01
ゼミナールⅣ		◎			3	1	1	La311-02
ゼミナールⅤ		◎			4	1	1	La411-01
ゼミナールⅥ		◎			4	1	1	La411-02